

山口県の農林水産業の概要

特徴・取組

山口県は本州の西端に位置し、三方が海に開かれ、東西に中国山地が走り、大きくは、瀬戸内海沿岸地域、内陸山間地域、日本海沿岸地域の3つに分けられ、気候は概して温暖であり、風水害や地震も比較的少ない。

産業は、瀬戸内海側では、重化学コンビナートを中心とした工業や流通業などが発展する一方で、日本海側は、農業・水産業などの第一次産業と観光業などのサービス産業が中心となっている。

米は、県内全域で栽培されており、野菜は、県中西部の指定産地を中心にキャベツ、だいこん、たまねぎ、トマトなどが栽培され、県オリジナル野菜の「はなっこりー」も需要が高まっている。果樹は、瀬戸内側を中心に温州みかん、中山間地域で、日本なし、くりなどが栽培され、畜産は、肉用牛（黒毛和牛、無角和牛、見島牛等）を始め、乳用牛、豚、鶏が各地で飼養されている。

スギ、ヒノキを中心とした人工林は、本格的な利用期を迎えており、県では、利用期を迎えた人工林での積極的な主伐・再造林の実施に取り組んでいる。

水産業は、日本海側では、あじ、いわし等を対象とするまき網・敷網やふぐ・あまだいはえ縄、下関漁港を基地とする沖合底びき網、瀬戸内海側では、えび類等を対象とした小型底びき網や、のり・くるまえび等の養殖がそれぞれ営まれている。

県は、地域農業の持続的な発展を図るため、集落営農法人化を推進するとともに、集落営農法人の高齢化・担い手不足の課題解決のため集落営農法人連合体の設立を支援し、更なる規模拡大や複合化・多角化などによる雇用の創出と所得の拡大を推進している。

また、県産農林水産物等の県内外での需要拡大につなげるため、生産者団体等と連携し、味や品質を重視した独自の基準を設けて、農林水産物及び主な原料が県産100%の加工品の中から厳選した商品を「やまぐちブランド」として登録し、幅広く情報発信をしている。

主な農林水産物

水稻

田が耕地面積の約8割、米が農業産出額の約3割を占めている。

主な品種はコシヒカリ、ひとめぼれ、きぬむすめ。



小麦

主要品種の「せときらら」は、山口市や宇部市などの瀬戸内海沿岸を中心に栽培されており、パン等の原料として使用されている。



リンドウ

山口県開発の「西京シリーズ」は、8月に出荷できる「西京の夏鈴」など2品種を加え、初夏から秋まで連続的に出荷が可能。



れんこん

全国でも有数のれんこん産地。岩国市が県内収穫量の大半を占める。（収穫量全国5位）



せとみ

山口県オリジナル柑橘。周防大島町を中心に沿岸部で栽培。特に品質の良いものを「ゆめほっぺ」として販売。



はなっこりー

中国野菜のサイシンとブロッコリーを掛け合わせて作られた、山口県オリジナル野菜。花蕾だけでなく葉も茎も食べられるのが特徴。



あまだい類

萩市の見島周辺を漁場とし、全国1位（令和6年）の漁獲量と、産地では刺身で食される鮮度の高さを誇る。



ふぐ

下関市の南風泊（はえどまり）市場は天然とらふぐの取扱量日本一。「下関ふぐ」はGI登録されている。



あんこう

対馬海峡から本県の見島沖合を漁場とし、下関漁港は全国トップクラスの水揚げ量を誇る。



長州黒かしわ（地鶏）

「長州黒かしわ」は天然記念物「黒柏鶏」の雄と在来種等の交配により作出された山口県オリジナルの地鶏でGI登録されている。



山口県内の各地域における農林水産物

北部地域

【農畜産物】 萩たまげなす、はなっこりー、ほうれんそう、ブロッコリー、トマト、きゅうり、かぼちゃ、スイカ、たまねぎ、にんじん、ジャガイモ、だいこん、ごぼう、長門ゆずきち、夏みかん、なし、くり、鶏肉（長門黒かしわ、長州どり）

【水産物】 あまだい類、マグロ、シロウオ、瀬つきあじ、ケンサキイカ、ウルメイワシ、ヒラメ（養殖）、ふぐ

中部地域

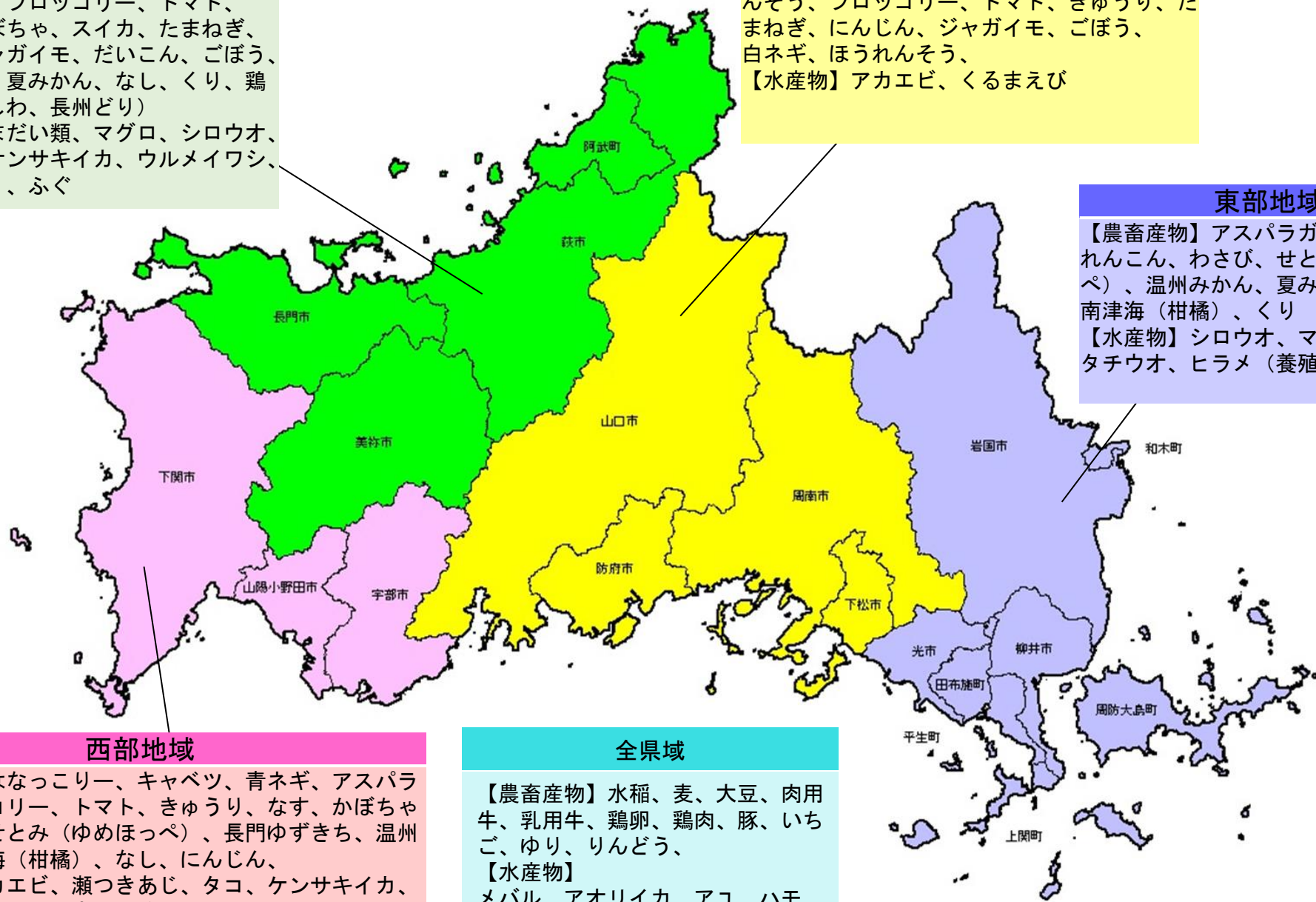
【農畜産物】 はなっこりー、キャベツ、ほうれんそう、ブロッコリー、トマト、きゅうり、たまねぎ、にんじん、ジャガイモ、ごぼう、白ネギ、ほうれんそう、

【水産物】 アカエビ、くるまえび

東部地域

【農畜産物】 アスパラガス、たまねぎ、れんこん、わさび、せとみ（ゆめほっぺ）、温州みかん、夏みかん、南津海（柑橘）、くり

【水産物】 シロウオ、マダイ、タコ、タチウオ、ヒラメ（養殖）



西部地域

【農畜産物】 はなっこりー、キャベツ、青ネギ、アスパラガス、ブロッコリー、トマト、きゅうり、なす、かぼちゃ、ジャガイモ、せとみ（ゆめほっぺ）、長門ゆずきち、温州みかん、南津海（柑橘）、なし、にんじん、

【水産物】 アカエビ、瀬つきあじ、タコ、ケンサキイカ、ウルメイワシ、アンコウ、ふぐ

全県域

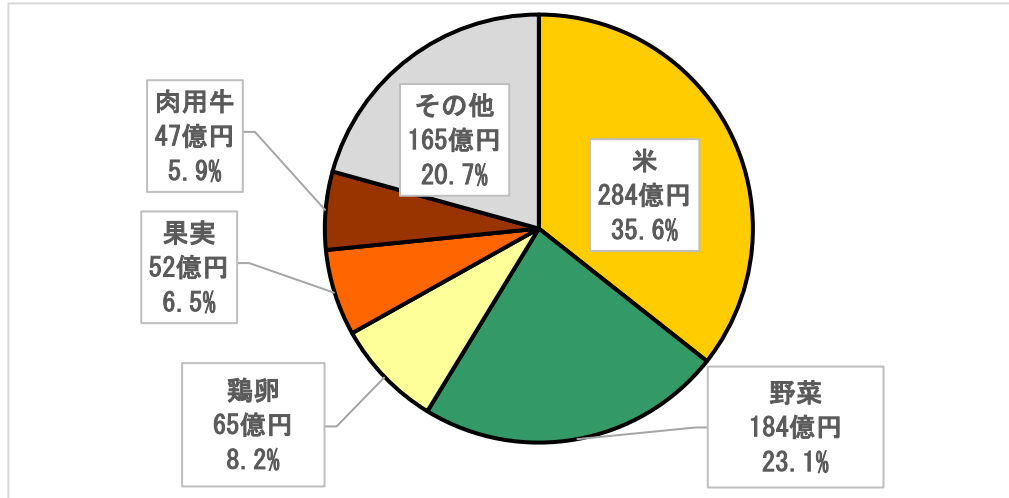
【農畜産物】 水稲、麦、大豆、肉用牛、乳用牛、鶏卵、鶏肉、豚、いちご、ゆり、りんどう、

【水産物】 メバル、アオリイカ、アユ、ハモ（瀬戸内側）、ウニ、サザエ、サワラ（日本海側）サバ（日本海側）タチウオ

山口県の農業（1）

- ・農業産出額は797億円で全国40位。うち米が284億円（35.6%）、野菜が184億円（23.1%）、畜産が220億円（27.6%）。
- ・農畜産物の生産状況は、セトミ（せとみ）、スダイダイ、ナガトユズキチ（長門ユズキチ）が全国1位、れんこんが5位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	山口県	全国	全国順位
はだか麦	収穫量	R7 367 t	16,500	10 *
れんこん	収穫量	R6 2,480 t	51,900	5
くり	収穫量	R6 259 t	14,000	14
セトミ（せとみ）	収穫量	R5 313 t	313	1
スダイダイ	収穫量	R5 105 t	105	1
ナガトユズキチ（長門ユズキチ）	収穫量	R5 66 t	66	1
イヨカン（伊予柑）	収穫量	R5 113 t	19,987	6
ナツミ（南津海）	収穫量	R5 24 t	1,651	10
ナツミカン類	収穫量	R5 301 t	29,633	11
ユズ（柚）	収穫量	R5 377 t	28,144	9

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」

農業産出額のデータ

区分	山口県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	797 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	40
米	284 億円 (35.6)	25,524 億円 (23.7)	29
麦類	2 億円	582 億円	16 *
雑穀	0 億円	87 億円	35
豆類	1 億円	621 億円	31
いも類	9 億円	2,565 億円	27
野菜	184 億円 (23.1)	25,510 億円 (23.7)	35
果実	52 億円 (6.5)	10,112 億円 (9.4)	37
花き	30 億円	3,423 億円	34
工芸農作物	1 億円	1,577 億円	33
その他作物	12 億円	583 億円	13 *
畜産	220 億円 (27.6)	36,654 億円 (34.0)	35
肉用牛	47 億円	7,861 億円	34
乳用牛	22 億円	10,035 億円	40
生乳	19 億円	8,937 億円	41
豚	29 億円	7,567 億円	34
鶏	118 億円	10,170 億円	26
鶏卵	65 億円	5,764 億円	26
ブロイラー	45 億円	4,259 億円	18 *
その他畜産物	4 億円	1,021 億円	16
加工農産物	1 億円	565 億円	28

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

山口県の農業（2）

- ・耕地面積は4万2,900haで全国32位。うち田が3万6,100ha、畑が6,790ha。
- ・農業経営体数は1万1,302経営体で全国34位。うち法人経営体数が451経営体で32位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,353経営体で全国40位。うち法人数が425法人で32位。
- ・農業生産関連事業は、観光農園の年間販売（売上）金額が7億円で全国18位、農業経営体数は80経営体で16位。

耕地面積

区分	山口県	全国	全国順位
耕地面積	42,900 ha	4,272,000 ha	32
田	36,100 ha	2,319,000 ha	26
畑	6,790 ha	1,952,000 ha	36
普通畑	4,300 ha	1,118,000 ha	37
樹園地	2,170 ha	248,600 ha	33
牧草地	334 ha	585,900 ha	28
参考) 総土地面積	6,112.90 km ²	377,979.74 km ²	23

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	山口県	全国	全国順位
荒廃農地面積	8,235 ha	256,667 ha	11

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	山口県	全国	全国順位
農業経営体数	11,302 経営体	836,054 経営体	34
法人経営体数	451 経営体	33,819 経営体	32
総農家数	20,219 戸	1,394,135 戸	33
販売農家数	10,559 戸	792,808 戸	35
参考) 世帯総数	598,824 世帯	55,830,154 世帯	27
集落営農数	323 集落営農	13,952 集落営農	18

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	山口県	全国	全国順位
担い手への集積面積	14,771 ha	2,627,068 ha	33
集積率	34.4 %	61.5 %	33

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	山口県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	11,260 人	1,036,228 人	38
男	7,311 人	659,332 人	39
女	3,949 人	376,896 人	37
65歳以上	9,555 人	721,311 人	35
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	84.9 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,353 経営体	212,136 経営体	40
法人数	425 法人	29,684 法人	32
参考) 人口総数	1,342,059 人	126,146,099 人	27

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	山口県	全国	全国順位	
農産加工	総額	24,666 百万円	1,006,107 百万円	15
	事業体数	420 事業体	26,910 事業体	33
農産物直売所	総額	17,185 百万円	1,134,381 百万円	34
	事業体数	430 事業体	20,960 事業体	21
観光農園	総額	681 百万円	39,113 百万円	18 *
	農業経営体数	80 経営体	4,350 経営体	16
農家民宿	総額	6 百万円	4,933 百万円	39 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	579 百万円	39,900 百万円	28 *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

山 口 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は33.7億円で全国32位。うち木材生産が26.5億円、栽培きのご類生産が6.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国26位、竹炭が全国2位、竹材が3位、木酢液等が7位。

林業産出額

区 分	山 口 県	全 国	全国順位
林業産出額	33.7 億円	4,769.8 億円	32
木材生産	26.5 億円	2,369.4 億円	25
栽培きのご類生産	6.8 億円	2,322.7 億円	35

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	山 口 県	全 国	全国順位
素材生産量	199 千m ³	19,763 千m ³	26
針葉樹	179 千m ³	18,398 千m ³	26
あかまつ・くろまつ	2 千m ³	459 千m ³	15
ひのき	57 千m ³	3,019 千m ³	19
広葉樹	20 千m ³	1,365 千m ³	18
竹炭	生産量 47 t	642 t	2 *
木酢液等	生産量 20,190 l	1,535,689 l	7 *
竹材	生産量 65 千束	879 千束	3
木質粒状燃料	生産量 23 t	151,868 t	26

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	山 口 県	全 国	全国順位
林野面積	439,489 ha	24,744,214 ha	20
国有林	11,457 ha	7,117,059 ha	39
民有林	428,032 ha	17,627,155 ha	14
人工林面積	187,377 ha	10,059,386 ha	23

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	山 口 県	全 国	全国順位
林業経営体数	312 経営体	23,300 経営体	27
法人経営体数	26 経営体	3,813 経営体	40

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	山 口 県	全 国	全国順位
製材工場数	50 工場	3,547 工場	36
製材用素材の入荷があった工場数	50 工場	3,492 工場	35
国産材のみ	45 工場	3,013 工場	31
国産材と輸入材	3 工場	386 工場	28

出典：「令和6年木材統計」

山口県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は151億円で全国26位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のあまだい類が全国1位、さざえが3位、海面養殖業のくるまえびが5位、ふぐ類が8位。
- ・漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が5,300万円で全国で21位、漁業経営体数は10経営体で13位。

漁業産出額

区分	山口県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	151 億円	14,785 億円	26
海面漁業	133 億円	8,894 億円	18 *
海面養殖業	18 億円	5,891 億円	27 *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	山口県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	2,159 経営体	65,662 経営体	11
内水面漁業経営体数	14 経営体	4,076 経営体	42

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	山口県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	2,821 人	121,389 人	16
男	2,608 人	109,757 人	14
女	213 人	11,632 人	15

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	山口県	全国	全国順位
漁船隻数	2,831 隻	109,284 隻	16
動力漁船	2,151 隻	58,907 隻	10

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	山口県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	21,238 t	3,589,121 t	30 *
海面漁業漁獲量	20,437 t	2,786,195 t	24
あまだい類	230 t	1,085 t	1
さざえ	313 t	3,003 t	3
海面養殖業収穫量	801 t	802,927 t	28 *
ふぐ類	92 t	2,758 t	8 *
くるまえび	82 t	1,383 t	5 *
内水面漁業・養殖業生産量	50 t	47,046 t	37
内水面漁業漁獲量	18 t	17,915 t	28
あゆ	16 t	1,414 t	14
内水面養殖業収穫量	32 t	29,131 t	36
あゆ	18 t	3,487 t	14

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	山口県	全国	全国順位
水産加工	総額	1,139 百万円	193,147 百万円
	事業体数	40 事業体	1,160 事業体
水産物直売所	総額	234 百万円	34,259 百万円
	事業体数	20 事業体	780 事業体
漁家民宿	総額	53 百万円	5,440 百万円
	漁業経営体数	10 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	88 百万円	13,511 百万円
	事業体数	10 事業体	380 事業体

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

山口県の農林水産業の話題等

「担い手支援日本一」を掲げ担い手の定着を支援

「就業するなら山口県！」をスローガンに、山口県では、農林水産業の次代を担う新規就業者について、募集から研修、就業、定着までの一貫した「日本一の担い手支援策」を構築し、県内外からの参入と就業後の定着を進めている。

具体的には、雇用就農資金の給付額の上乗せによる法人就業支援や、農業大学校における研修体制の強化など、手厚い支援で担い手の確保を目指している。



就農相談会の様子



新規就業者受入に必要な機械・施設等の整備を支援

「農林業の知と技の拠点」の取組（山口県農林総合技術センター）

令和5年4月に農業試験場、林業指導センターと農業大学校を統合して形成した「農林業の知と技の拠点」では、生産性と持続性を両立した強い農林業の育成に向けて、県内外の企業や大学、関係機関等と積極的に連携し、高度な技術を持つ即戦力人材の育成と、県の特性に応じた先端技術の開発を進めている。

また、県産農林水産物の付加価値を高めるための新商品開発等を支援する「オープンラボ」の活用に加え、「やまぐち農林業の知と技の拠点祭」や小学生を対象とした「試験研究体験ツアー」など多様な連携・交流イベントの開催を通じて、県民にとって開かれた「農林業の知と技の拠点」を目指している。



「農林業の知と技の拠点」本館
(山口県農林総合技術センター)
(山口県防府市牟礼10318)



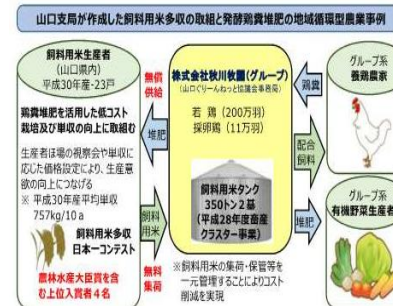
夏休み企画「試験研究体験ツアー」
～病害虫を学ぼう（顕微鏡観察）～

地域循環型耕畜連携の取組（飼料用米と発酵鶏ふん堆肥）

山口県では、「山口県飼料用米推進協議会」が中心となり、県下全域の飼料用米の生産・利用拡大や生産性向上等に向けた取組を推進している。

その構成員の取組の一例として、(株)秋川牧園は、「完熟鶏ふん堆肥」を無償で飼料用米生産者グループに供与し、「飼料用米の多収・低コスト化」を通じた地域循環型の耕畜連携に取り組んでいる。土作りと多収品種による単収向上を図り、収穫された飼料用米は同社が全量買い取り、耕・畜ともにWin-Winの関係を構築している。

なお、飼料用米生産ほ場の視察会を通じてノウハウの共有と生産意欲の向上を図っており、「飼料用米多収日本一コンテスト」では、農林水産大臣賞を含む上位入賞者を多く輩出している。



飼料用米多収の取組と発酵鶏ふん堆肥の地域循環型農業のスキーム



「飼料用米多収日本一コンテスト」では農林水産大臣賞を含む上位入賞者を輩出